

05/24・EU離脱なら景気後退 英政府が試算 経済規模3.6%縮小 < 1 >

- 世論調査「残留」47%「離脱」40% 若年層は残留支持多く投票率が左右
- ・出生率1.46に（昨年合計特殊出生率）前年を0.04ポイント上回る
 - 出生数は100万5656人 婚姻件数は戦後最少の63.5万組 第1子出産年齢30.7歳
 - 政府目標の1.8にはメドが立たず人口維持には2.07必要 米1.86、仏2.01、独1.47
- ・米、対ベトナム武器輸出を全面解禁 41年ぶり 中国けん制

05/25・日本企業の海外直接投資残高151兆円（昨年末、前年比6.8%増）< 2 >

5年連続で前年を上回り2010年末の68兆円の2.2倍に膨張

05/26・ギリシャ追加融資、債務軽減で合意（25日ユーロ圏財務相会合）< 3 >

- IMFの支援復帰へ半歩 返済期間延長など抜本策はドイツ総選挙後の2018年に先送り
- ・人民元、5年ぶり安値 来月の米利上げ観測で

05/27・伊勢志摩サミット開幕 安倍首相、世界経済「リーマン前に似る」< 4 >

- 消費税率引き上げ延期にらむも危機認識に差 専門家から「違和感」の声
- 首脳宣言「新たな危機を回避」財政戦略機動的に（難民対策から環境投資まで幅広く解釈）
- ・メール問題、本選に暗雲 「クリントン氏は違反」 国務省報告
- FBIが近く事情聴取 イメージ悪化が一段と深刻に
- ・NY原油、一時50ドル超 約7カ月ぶり
- ・4月消費者物価0.3%下落 2カ月連続のマイナス

05/28・オバマ氏広島訪問（27日） 演説17分、平和実現「共通の責任」

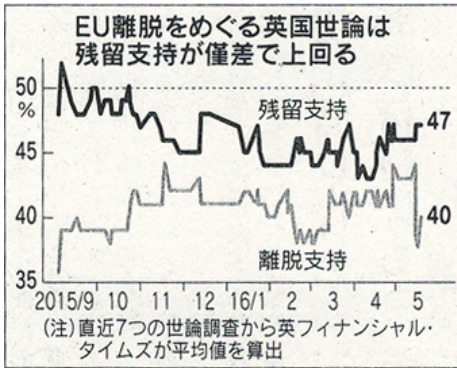
- 「謝罪」なく「道義的な目覚め」 核軍縮の流れ停滞
- ・日米、為替巡る火種なお 米大統領、介入けん制
- 日本政府「サミットで議論なく」もオバマ氏「通貨安競争回避で一致」と語る
- ・米追加利上げ「数ヶ月内」FRB議長講演（27日）市場の反応見極め < 5 >
- 4月まで「慎重に進める」も6、7月のいずれかの会合で利上げの可能性を示す
- 焦点は5月の雇用統計と6月23日の英EU離脱・残留国民投票

05/29・消費増税「19年10月に」首相2年半延期の意向 政府・与党本格調整

05/30・内閣支持率56%に3ポイント上昇（日本経済新聞世論調査）< 6 >

オバマ氏訪問「評価」92% サミット外交「評価」62% 消費増税「反対」63%

< 1 >

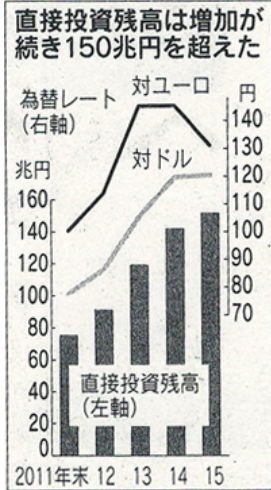


< 4 >

安倍首相が示した資料のポイント

- 商品価格下落進む**
- エネルギー・食料・素材などは2014年6月から16年1月までに55%下落
→リーマン・ショック前後の下落幅と同じ
- 新興国の投資や成長落ち込む**
- 投資の伸び率
→リーマン時より低い水準
 - GDP、輸入の伸び率
→リーマン以降最も低い
- 新興国から資金流出**
- 資金流入がマイナス転落
→リーマン後初めて
- 16年の成長率予測、下方修正相次ぐ**
- 先進国・途上国とも連続で下方修正。
米英独仏も

< 2 >



< 5 >

早期利上げには追い風と逆風がある



今後の注目材料	6月3日: 5月の米雇用統計
	6日: イエレン議長が講演
	23日: 英国が国民投票

< 3 >

25日のユーロ圏会合での合意事項

ギリシャに103億ユーロの追加融資枠を設定

ギリシャ債務軽減に応じる方針で合意

返済期間延長などの決定はドイツ総選挙後の2018年に先送り

IMFがギリシャ支援復帰へ前向きな姿勢を表明

実際に復帰するかはIMF理事会が軽減策を精査し判断

< 6 >

